


第3次 地域高齢者声かけ運動「プラス5人作戦」実施要領

趣 旨	地域で孤立する高齢者を一人でもなくし、仲間づくりをすすめるため、会員一人ひとりが声かけを行う運動を全県的に取り組むことで会員増強と組織の強化を図ります。
主 唱	 公益財団法人 香川県老人クラブ連合会
実施主体	市町老人クラブ連合会、地区老人クラブ連合会、単位老人クラブ
目 標	県 老 連 「全会員で声かけ運動をすすめよう」 単位クラブ 「新しい会員を年間5人以上迎えよう」
運動期間	平成25年度から平成29年度（5か年計画）
達成クラブ等の表彰	対象年度に新しい会員を5人以上迎えた単位クラブは、活動実績を紹介し、その功績を表彰する。 但し、会員総数が減少する場合は該当しない(同数可)。
表彰基準及び手続	① 対 象 各年度内に新しい会員を5人以上迎えた単位クラブ ② 対象期間 各年度（4月1日～3月31日） ③ 報告申請 様式1（達成報告並びに表彰申請書）を提出する ④ 受付期間 翌年度の5月1日～5月31日
決定及び公表等	① 申請内容をもとに理事会、調査研究委員会において表彰決定する。 ② 上記以外に、次の(1)～(3)を同時に決定する。 (1) 新設クラブ表彰 …（新設時の新規会員が30人以上であること） (2) 連続達成クラブ表彰 …（5か年のうち3年または5年達成したクラブ） ※但し、第2次プラス5人作戦の実績からは継続しない。 (3) 連合会表彰 …（連合会全クラブの内、半数以上のクラブが達成した老連） ③ 表彰状（単位クラブ/会長名）並びに記念品を授与する。 ④ 活動実績を「みんなの集い」プログラム紙上に掲載する。 ⑤ 達成クラブを機関紙上にて公表する。
実施上の留意点	・組織を再確認(活動診断等)し、役割分担を明確にし、実施計画書に基づいて会員一丸となって取り組みましょう。 ・会員一人ひとりの勧誘が有効であるが、強引な勧誘は避けましょう。 ・勧誘にあたっては、クラブ活動の内容を理解していただくと共に、高齢期になると仲間との語り合いや支え合いがいかに大切であるか、自らの体験とともに説明するようにしましょう。 ・関係諸団体と連携し、全面的な協力を得られるように努めましょう。

ポイント (参考)

- ・「声かけ」は役員のみならず、メンバー全員が行う気運を作っていこう。
- ・高齢になっても「**名誉会員**（会費免除）」等で退会されないようにしよう。
- ・**解散クラブは、地区老連で協力し復元しよう。**
- ・**単位クラブ名を見直し、地域に親しまれる固有クラブ名を定着させよう。**
- ・若手高齢者の意見を常に取り入れて、活動内容の活性化を図っていこう。
- ・地区老連に一つ、新設クラブ（若手クラブ）をつくろう。（別資料有）
- ・毎月20日には「地域高齢者声かけ運動」の幟を掲げよう。

地域高齢者声かけ運動（活動例）

誰が？	いつ？	どこで？	誰に？	何を？ どのようにする？
会長 役員 班長 運営者 推進者 支部長 世話役 など	月1回 年1回 強化月間期間中	役員会で 総会で 定例会で 支部長会で 班長会で 各行事会場で 各訪問先で	役員 会員 行事参加者 未加入高齢者 老人大学修了者 センター利用者 取引業者 行政 有力者 地域の名士	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に取り上げ声掛けをすすめる ・自治会等他団体と行事を共催する ・ボランティアの支援を求める ・会員内外との交流の場を設ける ・地域団体に招待状を送る ・広報紙を発行したり記事にする ・クラブ固有名を地域に定着させる ・掲示板や回覧板を使わせてもらう ・年齢達成者自動加入の指導を依頼 ・アドバイザー、相談役をお願いする ・名誉会員（90歳以上）をすすめる
クラブ員 メンバー 参加者 など 全会員	常時 買い物中 家庭の中 週1回 月1回 定年退職時 年金受給直後 引越し転入時 老人学級終了時 施設復帰直後 悩み事ある時	スーパー内で サロンで 商店街通りで 待合室で 訪問先で 家庭で 散歩中 町内会集会で 公民館活動で 競技練習中に ふれあい祭で	顔見知りの人 旧友 趣味の仲間 配偶者や家族 退職間際の人 50歳代の人 閉じこもりの人 見ないふりをしてきた人 アパート入居者 気になるお年寄	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事の参加をすすめる ・活動内容や情報をまず知らせる ・魅力あるクラブの固有名をPRする ・準会員（60歳未満）をすすめる ・クラブ内での趣味活動をすすめる ・定期的に何回も声掛けしすすめる ・活動の楽しさを話題に取り上げる ・イベントや行事を一緒にする ・これからの生活設計の相談をする ・相談ごとなど聴いてあげる

（参考）あきらかな理由に答えを準備しておきましょう！

「入りたくない理由」をひっくり返すには・・・？

理 由	対 策
まだ若い	➡ 若い人も入れるクラブに！
老人ではない	➡ 若い内にクラブを立ち上げよう！
もう高齢なので	➡ 高齢でも参加できるクラブに！
特典がない	➡ 何らかの特典づくりをしよう！
会費を払いたくない	➡ 会費を払う価値のある活動を
加入しても出席できない	➡ 健康、時間的な都合を配慮した活動を！
他に交流の場がある	➡ それ以上に魅力のある活動を！
仕事や家庭で忙しい	➡ 忙しい人でも参加できる活動を！
健康上の理由	➡ 病気の人でも参加できる活動を！
男性の趣味活動が少ない	➡ 活動内容を増やす！
どうやって手続きしたらいいかわからない	➡ 手続きの方法を簡単に！

第3次 地域高齢者声かけ運動「プラス5人作戦」のスケジュール

年月	内容	県老連	市町老連	単位クラブ
当年度	運動開始	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的方策の決定 ①周知徹底 ・助言指導 ・行政の理解と協力 ・情報収集と周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的方策の決定 ②周知徹底 例)・促進月間の策定 ・アンケート調査 ・関係団体との懇談会 ・「ぼちぼちかがわ」配布 ・チラシの作成 など 	<ul style="list-style-type: none"> ③各々運動開始 例)・全会員の声かけを習慣に ・自治会と連携して声かけを ・チラシは声をかけて配布を ・回覧板はなるべく手渡しで ・活動の案内は口頭で など
7月15日	広報	(1) 活動診断調査送付		
11月下旬		みんなの集い (3) 活動診断公表		(2) 活動診断報告
次年度				・会員数(増減)確認
5月1日 ~31日	申請期間 (限定)		各市町老連報告⑤	各クラブ報告④
9月中旬		理事会・調査研究委員会 (確認・決定)⑥		
11月下旬	表彰	みんなの集い⑦		
翌年1月15日	広報	機関紙「ぼちぼちかがわ」 ホームページに掲載⑧		

「プラス5人作戦」の流れは①～③

単位クラブ活動診断の流れ(1)～(3)

様式1-2 (単位クラブ→市・町(地区)老連)

平成 年度

第3次 地域高齢者声かけ運動「プラス5人作戦」達成報告書並びに表彰申請書

会員増加数	声かけをした対象や人数、方法、ご意見など (資料やチラシ等があれば、添付ください。)	必須 減少数
平成 年4月1日 ~ 平成 年3月31日 の間に増加した会員数		同期間に 減少した 会員数
人	(※資料添付可)	人

※注意 当年度の達成報告・表彰申請受付期間は、翌年度5月1日～5月31日(県老連到着日)

※増加数より減少数が上回る場合は、対象としない。同数は差し支えない。

各市町(地区)老人クラブ連合会会長 殿

平成27年 5月 日

上記のとおり、「プラス5人作戦」の達成報告並びに表彰申請をいたします。

地区老連名(ふりがな) ()
単位老人クラブ名 _____

会長名(ふりがな) _____

平成 年度
第3次 地域高齢者声かけ運動「プラス5人作戦」声かけ実施報告書

平成 年度	声かけ回数 (延べ)	声かけをする対象者数 (人)			気づいたことなど
		さん	さん	さん	
4月	回	回	回	回	
5月	回	回	回	回	
6月	回	回	回	回	
7月	回	回	回	回	
8月	回	回	回	回	
9月	回	回	回	回	
10月	回	回	回	回	
11月	回	回	回	回	
12月	回	回	回	回	
1月	回	回	回	回	
2月	回	回	回	回	
3月	回	回	回	回	
計	回	これからは			したいと思います。

平成 年 月 日

単位クラブ会長 殿

本年度、上記のとおり地域高齢者声かけ運動「プラス5人作戦」に協力し、声かけを行いました。

クラブ名 _____

名 前 _____